

企画調整局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
I-2-(1)-② 大学などの教育研究機能の充実	1	④ ⑤	公立大学法人北九州市立大学運営事業	企画課	公立大学法人の設置者として、地方独立行政法人法第42条に基づき、業務運営に必要な経費を交付し、法人の業務運営の健全性を確保する。	公立大学法人北九州市立大学評価委員会における各事業年度に係る業務に対する評価	目標	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (毎年度)	継続	2,464,100	2,595,900	増額	13,200	順調	第三期中期計画の実施に向け、引き続き公立大学法人北九州市立大学の健全な業務運営と教育研究の高度化・個性化、地域への貢献などを支援する。 また、老朽化施設の改修等施設整備を支援する。	順調	引き続き公立大学法人北九州市立大学の健全な業務運営と教育研究の高度化、地域への貢献などの支援に努めていく。
							実績	A (計画どおり)												
							達成率	—												
						公立大学法人北九州市立大学評価委員会における中期目標期間に係る業務に対する評価	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	A (R4年度)									
							実績	—												
							達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
I-2- (1)-④ シンク タンク を活用した調査・研究機能の強化	2	④ ⑨	公立大学法人北九州市立大学運営事業	企画課	北九州市立大学地域戦略研究所での地域研究プロジェクト、受託調査を通じて、地域研究の高度化を推進する。	公立大学法人北九州市立大学評価委員会における各事業年度に係る業務に対する評価	目標	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (計画どおり)	A (毎年度)	継続	2,464,100	2,595,900	増額	13,200	順調	第三期中期計画の実施に向け、引き続き公立大学法人北九州市立大学の健全な業務運営と教育研究の高度化・個性化、地域への貢献などを支援する。 また、老朽化施設の改修等施設整備を支援する。	順調
							実績	A (計画どおり)											
						公立大学法人北九州市立大学評価委員会における中期目標期間に係る業務に対する評価	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	A (R4年度)	継続							
							実績	—											
	3	④ ⑨ ⑰	(公財)アジア成長研究所補助金	国際政策課	本市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、国際水準の知的基盤の強化と地域への知的貢献を目的とする活動を行う(公財)アジア成長研究所に補助金を交付する。	著名な学術雑誌への論文掲載数	目標	5 本	5 本	5 本	5本 (毎年度)	継続	140,000	140,000	維持	4,650	順調	高度な学術水準の維持に努めると共に、培った調査研究能力で、行政・企業をサポートする「地元貢献」に重点的に取り組む。また、リモート会議・YouTubeの活用といった、コロナ時代に対応した市民サービスに取り組む。さらに、科研費など外部資金の獲得に注力し、財政基盤の安定化に努める。	順調
							実績	4 本											
						科学研究費を含む外部資金獲得数	目標	6 件	6 件	6 件	6件 (毎年度)	継続							
							実績	7 件											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所課 名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千 円）	R3年度 予算額 （千 円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千 円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）					
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標				
I-2- (2)-③ アジア などの 架け橋 となる 人材の 育成	4	④ ⑨	公立大学法人 北九州市立 大学運営事業	企画 課	公立大学法人の 設置者として、地 方独立行政法人法 第42条に基づき、 業務運営に必要な 経費を交付し、法 人の業務運営の健 全性を確保する。	公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る各事業年度に 係る業務に対す る評価	目標	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (計画どお り)	A (毎年 度)	継続	2,464,100	2,595,900	増額	13,200	順調	第三期中期計画の実施に向 け、引き続き公立大学法人北 九州市立大学の健全な業務運 営と教育研究の高度化・個性 化、地域への貢献などを支援 する。 また、老朽化施設の改修等 施設整備を支援する。	順調	引き続き公立大学法人北九 州市立大学の健全な業務運営 と教育研究の高度化、地域へ の貢献などの支援に努めてい く。				
							実績	A (計画どお り)																
							達成率	—																
						公立大学法人北 九州市立大学評 価委員会におけ る中期目標期間 に係る業務に対 する評価	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	A (R4年 度)										実績	—		
達成率	—																							
II-3- (3)-① 多文化 共生社 会の実 現に向 けた体 制の構 築	5	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の 推進	国際 政策 課	外国人市民が安 心して暮らすこと ができる多文化共 生のまちづくりを 推進するため、外 国人市民が抱える 生活上の諸問題や 支援に対するニー ズの把握を行う。	市民の「多文化 共生」という言 葉の認知度	目標	53.0 %	53.0 %	54.0 %	60% (R6年 度)	継続	43,565	42,065	維持	3,075	順調	新しい生活様式に従って、 イベントや交流を行い、多文 化共生意識啓発について引き 続き推進していく。	順調	外国人が日本で生活するに あたっての諸問題について把 握し、各々にあった支援を行 う。また、ディスカッション 等を通して意見を聴取する場 を設け、外国人にとって効果 的な取り組みに努める。				
							実績	58.1 %																
							達成率	109.6 %																
	6	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生ワ ンストップイ ンフォメー ションセン ター関連事業	国際 政策 課	外国人市民が安 心して生活できる ための情報提供や 相談に多言語で一 元的に対応する 「北九州市多文化 共生ワンストップ インフォメーショ ンセンター」の運 営を行う。	外国人市民の生 活環境の向上 (多文化共生の 現状調査で暮ら しやすいと回 答)	目標	80.0 %	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	80%以 上 (R6年 度)										実績	85.0 %		
							達成率	106.3 %																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
II-3-(3)-② 外国人市民の生活環境の充実	7	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の推進	国際政策課	日本語の不得手な外国人市民へのサポートとして、行政機関や医療機関（健康診査）に通訳ボランティアを派遣するとともに、災害時通訳も含めた通訳スタッフのスキル向上を図る。また、多言語等でわかりやすい生活情報の提供をすることにより、外国人市民の安全・安心な生活環境の整備を推進する。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	80.0 %	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	80%以上 (R6年度)	継続	43,565	42,065	維持	3,075	順調	引き続き、外国人市民だけでなく、通訳者に向けたスキルアップ講座を実施し、外国人がより安心して暮らせるようなまちづくりを推進する。	順調	外国人市民の増加に伴い、複雑化・多様化する外国人市民のニーズの把握に努め、引き続き外国人市民が生活する上で必要な情報の提供を行う。
								実績	85.0 %												
II-3-(3)-② 外国人市民の生活環境の充実	8	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生ワンストップインフォメーションセンター関連事業	国際政策課	外国人市民が安心して生活できるための情報提供や相談に多言語で一元的に対応する「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」を設置し運営を行う。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	80.0 %	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	80%以上 (R6年度)	継続	24,715	24,715	維持	2,325	順調	多様化・複雑化する外国人相談についての把握に努め、行政窓口や専門機関との連携を強化していく。	順調	
								実績	85.0 %												
II-3-(3)-③ 市民の国際理解の推進	9	④ ⑩ ⑪ ⑰	多文化共生の推進	国際政策課	日本人市民に対して、多文化共生に関する意識啓発や国際交流の機会や場の提供を行うことで、外国人を受け入れる地域づくりを目指すとともに、すべての市民が安心して暮らし、自己の能力を發揮できる「多文化共生先進都市」としてのまちづくりを推進する。	市民の「多文化共生」という言葉の認知度	51.8% (H29年度)	目標	53.0 %	53.0 %	54.0 %	60% (R6年度)	継続	43,565	42,065	維持	3,075	順調	外国人市民と日本人市民が関わる場を設けることで、日本人市民に対して多文化共生の意識啓発に効果的な事業を実施していく。	順調	多文化共生の意識啓発事業を実施することで、外国人の受入体制を強化していき、市民向け講座等を行うことで異文化理解の促進に努める。
								実績	58.1 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所課 名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千 円）	R3年度 予算額 （千 円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千 円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
10	③ ⑧ ⑪ ⑰		定住・移住促 進事業	地方 創生 推進 室	北九州市まち・ ひと・しごと創生 総合戦略に人口減 少対策の重要な柱 の1つとして位置づ ける「定住・移住 の促進」を図るた め、首都圏におけ るPRや「北九州市 版生涯活躍のまち」の推進等に向 けて取り組むもの。	北九州市への50 歳以上の転入者 の増加数 ※指標廃止	目標	100 人	100 人	448人 (H28～ R2年度)	継続	50,590	50,600	維持	28,450	大変 順調	本市の住みよさや移住支 援、子育て情報、生涯活躍の まちを引き続き積極的に発信 し、本市の移住促進に努め る。また、R3年度は新型コ ロナウイルス感染症の拡大を背 景に若い世代の移住ニーズが 拡大していること受け、若い 世代をターゲットに移住促進 に力を入れる。		
							実績	206 人											
達成率	206.0 %																		
						20歳代～30歳代 の社会動態の増 加数 ※指標追加	目標			100 人	450人 (R3～R5 年)					【指標廃止・追加の理由】 国の「生涯活躍のまち」が シニア向けから全世代へ拡充 されたこと及び事業開始から 5年が経過し、シニア対象の 取組が軌道に乗ってきたこと を踏まえ、依然、本市の課題 である若者の流出対策の指標 に変更するもの。			
実績																			
達成率																			
Ⅲ-1- (1)-② 定住促進や地域活性化のための環境づくり	11	⑧ ⑪	<新>複業・ 兼業による関 係人口づくり 事業～北九州 市と首都圏を 結ぶ人材マッ チング～	東京 事務 所	KitaQフェス等 を通じて得た首都 圏の関係人口（ KitaQサポーター 等）を本市への 移住・就職に結 びつけるため、 市内の仕事を テレワーク等 により複業・兼 業する仕組み を構築する。 加えて、本市 の暮らしや食 等を体験し てもらうワー クショップを 実施する。	複業・兼業の マッチング件 数	目標			10 件	累計60 件 (R5年 度)	—					本市の定住・移住促進に向 けて、本市の住みやすさと魅 力などの情報発信に取り組む とともに、継続的な移住支援 体制を構築する。 「KitaQフェス」実施を通 じて生まれた新たなネット ワークを活用し、東京から北 九州市への交流人口の拡大、 U・Iターン就職や移住などを 推進していく。	大変 順調	
							実績												
達成率																			
					KitaQサポ ーター新規登 録者数	目標			200 人	登録者 数 200人 (毎年 度)	—	—	20,000	—	20,700	—	「KitaQフェス」を通じて 得た首都圏の関係人口 (KitaQサポーター等)を、 本市への移住・就職に結び つけていく。		
実績	2,032人 (R1年 度)																		
達成率																			
					東京事務所 における新規 移住相談者 数	目標			200 人	新規移 住相 談者 数200 人 (毎年 度)	—								
実績	149人 (R1年 度)																		
達成率																			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
Ⅲ-2- (1)-① 近代化 遺産な どの文 化財の 保存・ 継承	12	⑩	世界遺産維持 活用保全事業	世界 遺産 課	国や関係自治 体、所有者等との 連携のもと、遺産 価値の保全につと める。	登録資産の保全	目標	保全計画 策定	ユネスコへ の報告書作 成	ユネスコへ の報告書作 成	ユネス コへの 報告書 作成 (毎年 度)	継続	26,000	29,391	増額	5,800	順調	事業区分を重点から裁量へ と見直して、予算内での安定 的な広報・PR活動、保全が行 えるようにする。	やや 遅れ	世界遺産登録された構成資 産の保全を行っていくと共 に、関係機関と連携してイン タープリテーション（理解増 進・情報発信）の取り組みを 推進し、観光資源としての魅 力向上を図っていく。	
							実績	保全計画の 策定													
							達成率	—													
						まつり起業祭 等、地元の祭り 等に出展	目標		2 件	2 件	2件 (毎年 度)										
							実績														
							達成率														
13	⑩	世界遺産集客 にぎわい創造 事業	世界 遺産 課	旧本事務所見学 バスツアーを実施 するとともに、バ スツアーにおける ガイドの充実を図 る。	バスツアーの参 加者数	目標		180 人	160 人	180人 (R4年 度)	継続	10,000	3,000	減額	5,800	—	モニターバスツアーやPRイ ベントなど、R2年度に予定し ていた内容が中止や変更を余 儀なくされたため、それを踏 まえてスケジュールや内容調 整をした事業内容としてい る。				
						実績															
						達成率															
						市内10大学の地 元就職者数	目標		前年度比増											前年度比増	前年度 比増 (R4年 度)
							実績	868人 (R1年 度)													
							達成率														
Ⅳ-3- (1)-② 地域企 業の ニーズ に沿っ た人材 育成・ 確保の 促進	14	⑧	地元就職促進 に向けた市内 大学等助成事 業	企画 課	大学生の地元就 職の促進等に取り 組む市内大学に対 して、新たな助成 制度により支援す ることで、市と大 学が連携して地域 と大学の活性化に 取り組むもの。	市内10大学の地 元就職者数	目標		前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (R4年 度)	—	50,000	50,385	維持	8,300	—	まち・ひと・しごと創生総 合戦略の基本目標の一つであ る、市内大学生地元就職者数 の達成に向け、地元就職促進 に有効な事業を実施する市内 大学等に対して、助成金交付 による支援を行う。	順調	引き続き、市内大学と連携 し、まち・ひと・しごと創生 総合戦略の基本目標の一つで ある市内大学生地元就職者数 の達成を目指す。	
							実績														
							達成率														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千 円）	R3年度 予算額 （千 円）	事業費 の増減	人件費 （目安 金額 （千 円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
IV-4- (1)-① 北九州 の魅力 づくり	15	⑧ ⑪	北九州市魅力 発信事業	地方 創生 推進 室	市民自らがまち の魅力を発信する ウェブサイト「北 九州市 時と風の 博物館」を通じ て、本市の魅力を 発掘・再発見し、 さらに情報の共有 や補足等を行うこ とで、地域資源を 磨きあげ、効果的 な情報発信を展開 する。	本市への愛着が あると答えた （肯定的な回答 をした）市民の 割合	79.3% (H25年 度)	目標	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0% (R6年 度)	継続	11,286	4,690	減額	8,700	順調	これまでの取組により「北 九州市 時と風の博物館」の 会員数は伸びている。さらに 本市の魅力を広く発信するた めに、投稿を簡易化するなど して広く市民が参加しやすい 形の取り組みを進め、地域資 源を増やすことで、さらなる 情報発信を展開していく。 また、「北九州市応援団の 集い」については、首都圏の 他イベントと融合し、特命大 使や本市ゆかりの方々などこ れまでに培ったネットワーク を活用して、首都圏での情報 発信を強化する。	これまでの取組により、目 標値に向けて微増ではあるが 上昇傾向である。今後も幅広 い世代に本市の魅力を感じて もらえるよう、新たなコンテ ンツの掘り起こしなどを進め るとともに、効果的な情報発 信により外部からの評価を高 めることで、市民のシビック プライドの醸成に繋げる。
							実績	82.0 %												
							達成率	91.1 %												
						本市が好きだと 答えた（肯定的 な回答をした） 市民の割合	78.5% (H25年 度)	目標	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0% (R6年 度)								
							実績	83.9 %												
							達成率	93.2 %												
IV-4- (2)-① 戦略的 なシ ティ プロ モ シ ョ ン の 展 開	16	⑧ ⑪	北九州市魅力 発信事業	地方 創生 推進 室	市民自らがまち の魅力を発信する ウェブサイト「北 九州市 時と風の 博物館」を通じ て、本市の魅力を 発掘・再発見し、 さらに情報の共有 や補足等を行うこ とで、地域資源を 磨きあげ、効果的 な情報発信を展開 する。	本市への愛着が あると答えた （肯定的な回答 をした）市民の 割合	79.3% (H25年 度)	目標	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0% (R6年 度)	継続	11,286	4,690	減額	8,700	順調	これまでの取組により「北 九州市 時と風の博物館」の 会員数は伸びている。さらに 本市の魅力を広く発信するた めに、投稿を簡易化するなど して広く市民が参加しやすい 形の取り組みを進め、地域資 源を増やすことで、さらなる 情報発信を展開していく。 また、「北九州市応援団の 集い」については、首都圏の 他イベントと融合し、特命大 使や本市ゆかりの方々などこ れまでに培ったネットワーク を活用して、首都圏での情報 発信を強化する。	これまでの取組により、目 標値に向けて微増ではあるが 上昇傾向である。今後も幅広 い世代に本市の魅力を感じて もらえるよう、新たなコンテ ンツの掘り起こしなどを進め るとともに、効果的な情報発 信により外部からの評価を高 めることで、市民のシビック プライドの醸成に繋げる。
							実績	82.0 %												
							達成率	91.1 %												
						本市が好きだと 答えた（肯定的 な回答をした） 市民の割合	78.5% (H25年 度)	目標	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0% (R6年 度)								
							実績	83.9 %												
							達成率	93.2 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											← 【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
IV-4-(2)-② 北九州を応援する人のネットワークによる情報発信	17	⑧ ⑪	北九州市魅力発信事業	地方創生推進室	市民自らがまちの魅力を発信するウェブサイト「北九州市 時と風の博物館」を通じて、本市の魅力を発掘・再発見し、さらに情報の共有や補足等を行うことで、地域資源を磨きあげ、効果的な情報発信を展開する。	本市が好きだと答えた（肯定的な回答をした）市民の割合	78.5% (H25年度)	目標 90.0 %	実績 83.9 %	達成率 93.2 %							順調	「北九州市が好き」「北九州市が誇り」「北九州市と関わりたい」と思い、市民や市出身者が自ら北九州市の魅力を発信していく輪を広げ、北九州市への愛着・自信・誇りを高めていくために、 (1) ウェブサイト「北九州市 時と風の博物館」を通じて、幅広い世代に対して、シビックプライドの向上や地域情報の効果的な浸透を図る。 (2) 北九州市応援団会員への定期的なメール配信や、特命大使・ひまわり大使への情報発信の強化により、本市ゆかりの方々に効果的に本市への愛着や誇りを共有してもらえる取組を実施する。	
						本市への誇りや自信があると答えた（肯定的な回答をした）市民の割合	56.7% (H25年度)	目標 75.0 %	実績 54.1 %	達成率 72.1 %							順調	これまでの取組により「北九州市 時と風の博物館」の会員数は伸びている。さらに本市の魅力を広く発信するために、投稿を簡易化するなどして広く市民が参加しやすい形の取り組みを進め、地域資源を増やすことで、さらなる情報発信を展開していく。 また、「北九州市応援団の集い」については、首都圏の他イベントと融合し、特命大使や本市ゆかりの方々などこれまでに培ったネットワークを活用して、首都圏での情報発信を強化する。	
						市外からの来訪者に対し、「北九州市の魅力をいくつか伝えることができますか」との質問に対し、「思いつかない」「無回答」と答えた市民の割合	16.8% (H23年度)	目標 5.0 %	実績 12.7 %	達成率 —									
						市外からの来訪者に対し、「北九州市の魅力をいくつか伝えることができますか」との質問に対し、「1つ以上」と答えた市民の割合	83.2% (H23年度)	目標 95.0 %	実績 95.0 %	達成率 —									
											継続	11,286	4,690	減額	8,700				



【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
18	⑧ ⑪		首都圏応援ネットワーク 拡大事業	東京事務所	首都圏において新たなネットワーク構築のために、サポーターの組織化を進める。さらに北九州市ゆかりの店舗等のネットワーク構築により、民間と連携した情報発信拠点の拡大を図る。これにより、首都圏での北九州市の認知度向上や北九州ファン層の拡大、人・店舗・企業のつながりを作る。	北九州市の認知度（地域ブランド調査によるもの）	19位 (H25年度)	目標	10 位以内			10位以内 (R4年度)	継続	4,950	4,500	減額	4,900	やや遅れ	【中期目標の変更内容】 KitaQサポーターは目標をはるかに超える2,000名を獲得し、順調に推移。今後は現会員2,000名に対し、移住等を現実的なものとするための情報発信に注力。そのため、新規獲得数は200人（毎年度）に変更。
							実績	20 位											
							達成率	—											
						KitaQサポーター新規登録者数 ※中期目標改訂	1,131人 (H30年度)	目標		500 人	200 人	登録者数計200人 (毎年度)							
							実績												
							達成率												
19	③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑪ ⑰		ふるさと寄附金促進事業	地方創生推進室	「ふるさと北九州市応援寄附金」についてPRし、寄附件数及び寄附金額の増加を図る。また、寄附金の使い道を寄附者が選択できる仕組みと一定額以上の寄附者に対する地元特産品等の贈呈を通じ、本市の魅力を全国に発信する。	寄附件数	46件 (H24年度)	目標	前年度 (11,037件) 比増	前年度比増	前年度比増	—	拡大	335,000	720,000	増額	13,950	大変順調	これまでの取組が功を奏し、北九州市への寄附額（ふるさと納税額）が大幅に増えている状況である。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症を考慮して対面型のイベントを中止し、主にインターネットを活用したPR方法に切り替えるなど、適宜適切な対応を行っている。今後も引き続き魅力ある返礼品を選定し、主に首都圏を対象にPRを強化することで、寄附受入額の増加を目指す。
							実績	26,438 件											
							達成率	239.5 %											
						寄附金額	約450万円 (H24年度)	目標	前年度 (19,777万円) 比増	前年度比増	前年度比増	—							
							実績	49,816 万円											
							達成率	251.9 %											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
IV-4-(2)-③ 都市イメージ の向上	20	⑧ ⑪	情報発信・取 材協力事業	地方 創生 推進 室	本市の認知度と 都市イメージの向 上を図るため、新 聞、雑誌、テレ ビ、インターネット 等のマスメディ アを通じた本市の PRに取り組む。	北九州市の認知 度 (地域ブランド 調査によるもの)	目標	10 位 以内	10位以内	10位以内	10位以 内 (毎年 度)	継続	20,037	19,814	維持	20,950	やや 遅れ	雑誌・新聞やテレビ・ラジ オ等のマスコミによる情報発 信は積極的に取り組んでいる が、地域ブランド調査による 順位が、認知度、情報接触度 ともに昨年より1ランク落ち たため、「やや遅れ」と判 断。 R2年度は、ウィズコロナ、 アフターコロナを見据えた情 報発信を行い、地域ブランド 調査のランキングが上昇（認 知度18位、情報接触度11位） したため、今後も継続してい く。	やや 遅れ	引き続き、本市の都市ブラ ンド推進に向け、魅力づくり や戦略的な情報発信に努めつ つ、若年層対象としたSNSの 活用や、ウィズコロナ、アフ ターコロナを見据えた情報発 信にも注力していきたい。
							実績	20 位												
							達成率	—												
						北九州市の情報 接触度 (地域ブランド 調査によるもの)	目標	10 位 以内	10位以内	10位以内	10位以 内 (毎年 度)									
							実績	19 位												
							達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
V-3- (2)-② 公共施設 転活用 などの 検討	21	⑧ ⑨ ⑪ ⑫	公共施設マネジメント推進事業	都市マネジメント政策課	「公共施設マネジメント実行計画」に基づき、公共施設に関する将来的な財政負担を軽減するための取り組みを進める。	公共施設保有量の縮減	全公共施設（H26年度）	目標 —	—	—	約20%削減（R37年度）	継続	9,108	8,256	減額	54,000	順調	2017年3月に策定した「公共施設マネジメント5ヶ年行動計画」に基づき、実行計画の進捗状況を的確に把握し、評価を行いながら進めていくなどの実効性の確保に努める。 あわせて、5ヶ年行動計画（2期目）の策定に向けた協議・取りまとめに着手する。		
	22	⑧ ⑨ ⑪ ⑫	門司港地域複合公共施設整備事業	都市マネジメント政策課	「北九州市公共施設マネジメント実行計画」に基づき、門司港地域及び大里地域において、公共施設の集約等の取り組みを進める。	門司港地域における複合公共施設の整備	モデルプロジェクト再配置計画策定（H27年度）	目標 複合公共施設の整備の推進	複合公共施設の整備の推進	複合公共施設の整備の推進	複合公共施設の整備の推進	複合公共施設の整備の推進	継続	149,300	86,665	減額	46,500	順調	公共施設マネジメントの基本方針や施設分野別実行計画等を踏まえ、地域住民や施設利用者等と対話しながら、引き続きモデルプロジェクトの着実な推進を図る。	順調
					大里地域における居住ゾーンの民間売却及び公園広場ゾーンの整備	モデルプロジェクト再配置計画策定（H27年度）	目標 居住ゾーンの民間売却（公募）の実施及び公園広場ゾーンの整備の推進	—	—	—	居住ゾーンの民間開発、公園広場ゾーンの整備（R5年度完了予定）	継続								
							実績 居住ゾーンの民間売却（公募）及び公園広場ゾーンの整備の推進													
							達成率 —													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
V-3- (2)-③ 近代化 遺産な どの文 化財の 活用	23	⑩	世界遺産維持 活用保全事業	世界遺産 課	国や関係自治 体、所有者等との 連携のもと、遺産 価値の保全につと める。	登録資産の保全	現状把握 のための調 査継続	目標	保全計画 策定	ユネスコへ の報告書作 成	ユネスコへ の報告書作 成	ユネス コへの 報告書 作成 (毎年 度)	継続	26,000	29,391	増額	5,800	順調	事業区分を重点から裁量へ と見直して、予算内での安定 的な広報・PR活動、保全が行 えるようにする。	やや 遅れ	世界遺産登録された構成資 産の保全を行っていくと共 に、関係機関と連携してイン タープリテーション（理解増 進・情報発信）の取り組みを 推進し、観光資源としての魅 力向上を図っていく。
							実績	保全計画の 策定													
							達成率	—													
						まつり起業祭 等、地元の祭り 等に出展	2件 (R1年 度)	目標		2 件	2 件	2件 (毎年 度)	実績								
								達成率													
24	⑪	世界遺産集客 にぎわい創造 事業	世界遺産 課	旧本事務所見学 バスツアーを実施 するとともに、バ スツアーにおける ガイドの充実を図 る。	バスツアーの参 加者数	64人	目標		180 人	160 人	180人 (R4年 度)	継続	10,000	3,000	減額	5,800	—	モニターバスツアーやPRイ ベントなど、R2年度に予定し ていた内容が中止や変更を余 儀なくされたため、それを踏 まえてスケジュールや内容調 整をした事業内容としている。			
							実績														
							達成率														
					会員都市間ネッ トワークの活用 による共同プロ ジェクトの件数	4件 (H26年 度)	目標	4 件	3 件	2 件	4件以上 (毎年 度)	実績	4 件								
							達成率	100.0 %													
東アジア（環 黄海）経済交 流推進機構推 進事業	⑧ ⑰	アジア交 流課	平成16年11月に 設立した「東ア ジア経済交流推 進機構（以下「機 構」）」の共同 事務局として、会 員都市との連絡調 整、各会議の窓口 調整や開催支援を 行うとともに、機 構活動の管理運営 にあたる。	東アジア経済交 流推進機構にお ける会議数	24件 (H26~ H30年 度)	目標	4 件	4 件	4 件	19件 (R2~R6 年度)	継続	5,900	5,290	減額	11,050	順調	各会員都市に所在する企業 の機構参加促進に向けて、各 都市商工会議所・国際商会と の連携を強化し、より活発な 機構活動を目指す。	順調	会員都市からの提言等をも とに、機構の活動についての 在り方を検討し、活性化を図 る。		
						実績	2 件														
						達成率	50.0 %														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
VII-1- (1)-② 都市間 交流・ 連携の 推進	26	⑰	国際交流事業	アジア 交流課	姉妹・友好都市 を中心とした海外 諸都市との様々な 分野での交流推進 を図るため、訪問 団の受け入れや本市 からの訪問団派遣 等の交流事業を行 う。	姉妹・友好都市 を中心とした海 外諸都市との交 流事業参加者延べ人数	343人 (H26年 度)	目標	330 人	330 人	330 人	330人 以上 (毎年 度)	継続	8,881	10,499	増額	14,950	大変 順調	様々な分野において、姉 妹・友好都市との交流を深め ていくとともに、海外諸都市 についても、各分野からの訪 問団の受け入れなどを通して 交流を広げていく。
								実績	1,164 人										
								達成率	352.7 %										
	27	⑰	ASEAN新都市 間連携促進事 業	アジア 交流課	成長するアジア の活力を本市に取 り込むため、姉妹 都市であるベトナム・ハイフォン市 やカンボジア・プ ノンペン都市などア セアン諸都市との 交流事業を実施す る。	アセアン諸国な どアジアの新興 国との交流事業 参加者延べ人数  ※指標追加	—	目標			50 人	100人 (毎年 度)	継続	2,000	4,399	増額	7,955	順調	カンボジア・プノンペン都 との交流促進のみならず、ベ トナム・ハイフォン市との連 携強化やアセアン諸国との多 分野における交流を進める。 R3年度についてはコロナ禍 に鑑み、目標値を50人とす る。  【指標廃止・追加の理由】 「アジアゲートウェイ推進 事業」の廃止にともない、同 事業で対応していたアセアン 諸国に関する事業を本事業で 実施することとしたため、R2 年度までの活動指標と成果指 標を廃止し、新たな指標を設 定した。
								実績											
								達成率											
						カンボジア及び アセアン新規交 流都市との交流 事業参加者延べ 人数  ※指標廃止	—	目標	20 人	20 人		20人 以上 (毎年 度)							
								実績	18 人										
								達成率	90.0 %										
28	⑰	<新>海外と のネットワ ーク強化事業	アジア 交流課	海外での本市の 知名度向上、及び 海外各都市との ネットワーク強化 を図るため、より 効果的で戦略的な 情報発信、シティ プロモーションを 実施する。	各種SNSによる 発信件数	—	目標			288 件	864件 (R5年 度)	—	—	1,500	—	3,075	—	経済活動や地域活動を持続 的に発展させていくために は、海外からの活力を取り込 んでいくことが不可欠であ る。 そのため、SNSによる発信 など、様々なツールを活用し た、より効果的で戦略的な情 報発信やシティプロモーション を行うことで、本市の知名 度の向上や海外各都市との ネットワーク強化を図り、海 外からの活力を取り込むこと を目指す。	
							実績												
							達成率												
					各種SNSの閲覧 件数	—	目標			15,000 件	45,000 件 (R5年 度)								
							実績												
							達成率												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）				
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標			
VII-1-(2)-② 文化・スポーツ交流の拡大	29	⑩	国際交流事業	アジア交流課	姉妹・友好都市を中心とした海外諸都市との様々な分野での交流推進を図るため、訪問団の受入れや本市からの訪問団派遣等の交流事業を行う。	姉妹・友好都市を中心とした海外諸都市との交流事業参加者延べ人数	343人 (H26年度)	目標	330 人	330 人	330 人	330人以上 (毎年度)	継続	8,881	10,499	増額	14,950	大変 順調	様々な分野において、姉妹・友好都市との交流を深めていくとともに、海外諸都市についても、各分野からの訪問団の受け入れなどを通して交流を広げていく。	大変 順調	姉妹・友好都市との様々な分野における交流・連携を一層強化していく。		
								実績	1,164 人														
								達成率	352.7 %														
VII-2-(2)-② 海外の経済事務所の活用	30	⑧ ⑩	中国ビジネスサポート拠点整備事業	アジア交流課	駐中国北九州市経済事務所を設置・運営し、地元企業のビジネスサポートや進出支援を行うとともに、本市と中国の都市とのネットワークを形成・強化する。	海外事務所の本市地域企業への貢献度	—	目標	80.0 %	80 %	80 %	80%以上 (R2年度)	継続	45,548	41,717	減額	3,075	大変 順調	コロナ禍においては、企業が海外事務所を訪問することは難しいため、海外事務所から企業のニーズ把握を積極的に行う。 コロナ終息後においては、海外事務所利用企業数及び地域企業への貢献度が、新型コロナウイルス感染症拡大前の数値を回復できるよう努める。	大変 順調	コロナ禍およびコロナ終息後における地元企業に対するビジネスサポートに積極的に取り組む。		
								実績	91.5 %														
								達成率	114.4 %														
								海外事務所を利用した企業数	—	目標	390 社	250 社										200 社	R3年度の状況により設定
										実績	492 社												
										達成率	126.2 %												
VII-2-(3)-② 国際都市にふさわしいまちづくり	31	④ ⑩ ⑪	多文化共生の推進	国際政策課	日本人市民に対して、多文化共生に関する意識啓発や国際交流の機会や場の提供を行うことで、外国人を受け入れる地域づくりを目指すとともに、すべての市民が安心して暮らし、自己の能力を発揮できる「多文化共生先進都市」としてのまちづくりを推進する。	市民の「多文化共生」という言葉の認知度	51.8% (H29年度)	目標	53.0 %	53.0 %	54.0 %	60% (R6年度)	継続	43,565	42,065	維持	3,075	順調	市民講座や日本人と外国人との交流イベント等の多文化共生意識啓発事業を実施することで、多文化共生に関する市民意識の向上を図る。	順調	外国人市民と日本人市民の共生事業を実施し、外国人市民が地域住民として活躍できるように活動に取り組むとともに、「やさしい日本語」の推進を図る。		
								実績	58.1 人														
								達成率	109.6 %														
	多文化共生ワンストップインフォメーションセンター関連事業	④ ⑩ ⑪	国際政策課	外国人市民が安心して生活するための情報提供や相談に多言語で一元的に対応する「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の運営を行う。	外国人市民の生活環境の向上（多文化共生の現状調査で暮らしやすいと回答）	79.7% (H26年度)	目標	80.0 %	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	80%以上 (R6年度)												
							実績	85.0 %															
							達成率	106.3 %															

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標	
VII-3-(1)-① 県内周辺市町村との 広域連携推進	33	⑪ ⑰	広域行政推進 事業	政策調整 課	下関市との連携については、県境を越えた連携中核都市同士の連携の可能性を検討していくものである。	「連携中核都市圏ビジョン」掲載の事業のうち、事業を実施した割合（一部実施含む） ※指標廃止	69% (H28年度)	目標	90 %	90 %		90% (R2年度)	継続	—	4,413	その他	13,300	順調	「新たな広域連携推進事業」については類似事業を整理し、「広域行政推進事業」の中で取り組みを行う事により事業費の見直しを行った。これにより、基本計画における主要施策を「広域行政推進事業」に変更し、周辺都市との連携を推進する。  【指標廃止の理由】 主要事業の見直しに伴い、適切な指標設定に修正するもの。	順調	北九州都市圏域で連携した事業について、これまでの食のプロモーション事業の経験を活かしつつ、情報発信ツールの見直し等を含め、企画検討を行っていく。
							—	実績	90 %												
	34	⑧ ⑰	北九州都市圏 域連携事業	政策調整 課	本市と近隣自治体（福岡県北東部の16市町）で形成された、連携中核都市圏「北九州都市圏」のブランディング、プロモーション事業を行う。	北九州都市圏域内への観光客数 ※指標廃止	3,640万人 (H27年度)	目標	3,658 万人	3,665 万人		3,673万人 (R2年度)	継続	5,090	4,000	減額	17,400	順調	新たに連携事業の企画検討を行い、圏域市町の意見を取り入れ、圏域の魅力をもっと発信できるような事業を行っていく。  【指標廃止の理由】 第2期北九州都市圏域連携中核都市圏ビジョン策定に伴い、KPIの設定見直しを行ったため廃止。	順調	【中期目標の変更内容】 次期北九州市観光振興プラン策定に伴うため。
							—	実績	集計中												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														← 【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 （千 円）	R3年度 予算額 （千 円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千 円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
VII-3-(1)-② 近隣主要都市との都市間連携	35	⑪ ⑪	広域行政推進 事業	政策 調整 課	<p>「連携中枢都市圏ビジョン」掲載の事業のうち、事業を実施した割合（一部実施含む） ※指標廃止</p> <p>69% (H28年度)</p>	目標	90 %	90 %								<p>「新たな広域連携推進事業」については類似事業を整理し、「広域行政推進事業」の中で取り組みを行う事により事業費の見直しを行った。これにより、基本計画における主要施策を「広域行政推進事業」に変更し、周辺都市との連携を推進する。</p> <p>【指標廃止の理由】 主要事業の見直しに伴い、適切な指標設定に修正するもの。</p>	順調	<p>順調</p> <p>今後も近隣都市との連携を一層強化していく。</p>	
					<p>下関市との連携については、県境を越えた連携中枢都市同士の連携の可能性を検討していくものである。</p> <p>本市と下関市両市の企画部門等で会議を開催し、両市の経済成長に繋がる取り組みについて協議・検討</p>	目標	関門地域の活性化に資する連携会議等での取組の協議・検討	関門地域の活性化に資する連携会議等での取組の協議・検討	関門地域の活性化に資する連携会議等での取組の協議・検討	関門地域連携推進協会とそれに伴う両市企画部門等の会議の開催	継続	—	4,413	その他	13,300				順調
	36	⑧ ⑪ ⑪	<新>関門連携推進事業	政策調整課	<p>関門地域魅力向上事業を発展させた形で、新しい生活様式が定着した「Afterコロナ期」を見据え、国内外からの観光客誘致を促進するため、関門エリアの魅力をブラッシュアップし、受入れ態勢のさらなる強化を図る事業を実施する。</p>	目標			40 事業						<p>関門地域魅力向上事業終了に伴い、新たに関門地域の活性化に寄与する事業を実施する</p>	—			
			行政間における関門連携事業数	40事業	実績				40事業（毎年度）	—	—	3,000	—	20,750				—	
						達成率													



【Plan】 計画 / 【Do】 実施										← 【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R2年度 予算額 （千円）	R3年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費 （目安） 金額 （千円）	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
						指標名等	現状値 （基準値）	R1年度	R2年度	R3年度									
VII-3-(2)-② 九州各 地域な どとの 連携	37	⑪ ⑰	広域行政推進 事業	政策 調整 課	【西九州軸連携】 九州新幹線沿線 自治体（鹿児島 市、熊本市、福岡 市）との「四都市 連携」と福岡県内 の政令市同士とし て共同施策を進め る福岡市との「福 北連携」を核とし た広域連携に加え て、鹿児島県南九 州市との都市間交 流の推進により、 九州の一体的な発 展のため、西九州 軸の広域連携の強 化を図るものであ る。  【東九州軸連携】 東九州軸では東 九州自動車道全線 開通を見据え、京 築地域や大分・宮 崎などの都市との 連携構築に取り組 む。	九州地域など における交流・連 携都市数（累 計）  ※指標廃止	26都市 (H28年 度)	目標 27 都市	実績 27 都市	27 都市 (毎年 度)	継続	4,454	4,413	維持	3,075	順調	令和2年度については、新 型コロナウイルス感染症の拡 大を考慮して各連絡会議を書 面開催するなど、適時適切に 対応している。次年度以降 も、状況に応じて書面開催や WEB会議等柔軟な対応を取り つつ連携の質を高めていく。	順調	今後も交流・連携の枠組み を維持・継続し、九州の各地 域との連携を強化していく。
						連携事業の実施 (西九州軸での 活動)	1回 (H28年 度)	目標 1 回	実績 1 回	1回 (毎年 度)									
						連携事業の実施 (東九州軸での 活動)	1回 (H28年 度)	目標 1 回	実績 1 回	1回 (毎年 度)									
						四都市間にて市 民割引料金を適 用する市施設数 (動物園、美術 館、博物館な ど)  ※指標追加	52施設	目標 52 施設	実績 52 施設	52施設 (毎年 度)									